

ヤツシロソウ

Campanula glomerata L.
var. *dahurica* Fisch.

キキョウ科
Campanulaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IB

選定理由 県内では火山性高原の草原に多く生育していたが、現在生育地はごく希である。人工牧野などへの土地改変や野焼の停止による植生遷移の進行で生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 九重火山群，大野川上流域，祖母・傾山地

分布域 九州(熊本・大分)
朝鮮半島, 中国・中国(東北部), アムール, ウスリー, ウダ, コーカサス, シベリア

生育環境 丘陵地や低山地の草原。

現 状 これまでに確認された生育地はほとんど消滅してしまい、牧草地に利用されていないごく小面積の半自然草原に、わずかな個体がみられる。

備 考 大陸系遺存植物。国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう]

ツルギキョウ

Campanumoea javanica Bl.
subsp. *japonica* (Makino) Hong

キキョウ科
Campanulaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内の生育地は点在し、個体数も極めて少ない。林縁に生えるため、伐採や植生遷移の進行による環境変化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，(大分川・大野川丘陵地)，(豊後水道域)

分布域 本州(関東地方以西) 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
台湾

生育環境 丘陵地の林縁。

現 状 「英彦山・犬ヶ岳山地」の生育地は、植生遷移の進行で衰退している。「大分川・大野川丘陵地」，「豊後水道域」で採集された標本はあるが、その後、生育状態が把握されていない。

サワギキョウ

Lobelia sessilifolia Lam.

キキョウ科
Campanulaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では北部・西部・中部地域の湿地に散在する。湿地の改変や乾燥化による植生の遷移，人の採取により，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地)，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
台湾, 朝鮮半島, 中国・中国(東北部), アムール, ウスリー, 東シベリア, 樺太, 千島

生育環境 丘陵地から山地の池沼や湿地。

現 状 野焼きの停止により植生の遷移が進み，生育状態が悪化している所がある。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

備 考 北方寒冷地要素の植物。国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，瀬戸内海，耶馬日田英彦山]